



所属 山武保健所(健康福祉センター)地域保健課 入庁年 2011年

管理栄養士

【知事部局勤務】食生活を軸とした健康づくりに従事します。保健所(健康福祉センター)においては給食施設や食品関連事業者等への指導・支援、食生活の調査などを行い、情報の収集や発信・地域の健康づくりに携わります。

【病院局勤務】チーム医療の一員として、栄養指導と栄養管理計画の作成や栄養サポート業務、食事提供の管理を行います。

志望理由

出身地である千葉県で管理栄養士の資格を活かし、多くの方々の健康づくりに貢献したいと考え、千葉県を志望しました。行政の管理栄養士の仕事は、「食」の面から生涯を通じた健康づくりを推進する非常にやりがいのある仕事だと思います。

やりがい

給食施設指導において、適切な栄養管理が実施されるよう助言・指導し、実際に改善が見られた際にやりがいを感じます。管理栄養士が従事する業務ひとつひとつが、県民の皆さんの健康を守り、支えることにつながっていると感じます。

印象に残った仕事

1年目に国民健康・栄養調査を担当し、住民の方、関係部署等、多くの方々のご協力のもと、調査ができました。また、地域による食文化の違いを改めて知る機会となり、地域特性に応じた健康づくりの重要性を強く感じました。

INTERVIEW

インタビューの詳細はこちら▶



所属 山武保健所(健康福祉センター)健康生活支援課 入庁年 2022年

保健師

地域保健分野の施策の企画や事業の推進を担当します。保健所(健康福祉センター)においては、難病等を抱える方の相談や療養支援、結核・感染症など健康危機対策、関係機関と連携を図り地域の健康づくり等を推進します。

志望理由

千葉県沿岸部で生まれ育ち、東日本大震災での被災経験を契機に、看護職に興味を持ちました。公衆衛生看護の重要性を学び、地域を広域的に見て健康危機に対処する保健所保健師として、地元の千葉県で働きたいと思うようになりました。

やりがい

受け持った患者さんが、その人らしい生活を大切にしながら、治療を完遂できた時は、自分ごとのようにうれしく、やりがいを感じます。それと同時に、感染症にかかわる地域住民の伴走者となる保健所保健師としての役割を実感しました。

印象に残った仕事

入庁後初仕事の、新型コロナウイルス感染症の対応業務です。コロナ対応は行動制限をかけることもあり、県民の皆様の協力が不可欠な業務であると同時に、健康を守る最前線で活動していることを認識し、身が引き締まる思いでした。



INTERVIEW

インタビューの詳細はこちら▶

